

令和6年度 特別の教育課程の実施状況等について

| 学 校 名     | 管理機関名    | 設置者の別 |
|-----------|----------|-------|
| 利根町立利根小学校 | 利根町教育委員会 | 公立    |

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

| 学 校 名     | 特別の教育課程の編成の方針等の<br>公表 URL   |
|-----------|---|
| 利根町立利根小学校 | <a href="https://www.tone-school.jp/data/doc/1761121917_doc_48_0.pdf">https://www.tone-school.jp/data/doc/1761121917_doc_48_0.pdf</a> |

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

| 学 校 名     | 自己評価結果の公表 URL   | 学校関係者評価<br>結果の公表 URL |
|-----------|---|----------------------|
| 利根町立利根小学校 | <a href="https://www.toneschool.jp/data/doc/1761279832_doc_48_0.pdf">https://www.toneschool.jp/data/doc/1761279832_doc_48_0.pdf</a> | 工事中                  |

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- 一部、計画通り実施できていない
- ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

特記事項なし

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- 実施していない

### 3. 実施の効果及び課題

#### (1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

利根町の小学校では、将来のグローバル社会で活躍できる人材の育成を目指し、英語教育の充実を図っています。平成30年より特別の教育課程を編成し、1・2年生から英語の授業を時間割の中に位置づけ、小中学校の9年間を見通した英語力の向上を目指しています。

1・2年生の児童は、外国語活動が楽しい、ALTと一緒に活動するのが楽しいと肯定的な意見が9割を超えており、授業以外でも日常的なALTと触れ合う活動を取り入れています。小学校低学年から英語に触れる機会が多いため、積極的に友達やALTとコミュニケーションをとる児童生徒が多くなりました。

教員は、1年生からの外国語活動について、英語に慣れ親しむことに繋がっていると7割が思っており、低学年からの外国語の活動について肯定的に捉えています。

課題は、英語を苦手としている児童生徒は、英語に対して自信がなく、積極的にコミュニケーションが取れないことです。また、2年生のALTとの活動が「楽しい」と回答した児童が約4割で、今後は「楽しい」と児童が思えるように活動内容を工夫していきたいと思えます。

#### (2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

町では、グローバル社会で活躍できる人材の育成を目標としており、学校でも実践的なコミュニケーション能力の育成を目標としています。授業では、ALTを積極的に活用し、コミュニケーション活動を中心に取り組んでいます。また、授業外でもALTと一緒に遊んだり、会話をしたり、日常の中で自然と英会話ができるようにしています。更にALTと一緒に給食を食べたり、清掃したりすることで日本の文化を英語でALTに伝え、ALTから外国の文化を教えてもらう活動もしています。

このような取組は、学校教育基本法第21条三「我が国と郷土の現状と歴史について正しい理解に導き、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養うとともに、進んで外国の文化の理解を通じて、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。」の目標に迫ることができると考えています。

「外国のことをもっと知りたい」と回答している児童が多く、今後さらに外国の文化に触れる活動も取り入れていきたいと思えます。

### 4. 課題の改善のための取組の方向性

コミュニケーションが苦手な児童には、外国語の活動だけでなく、教育活動全体を通して、コミュニケーション能力の育成を図っていきます。ALTと協力しながら外国語の活動が楽しい内容になるようにもしていきます。また、ALTとのコミュニケーションだけでなく、ICTを活用して、ライブでいろいろな外国の方と会話ができるような活動も取り入れ、グローバル社会で活躍できる人材を育成していきたいと考えています。